

## 平成 30 年度 1-①

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能

○評価項目 ① 貸し出しと閲覧サービスの充実

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：人口一人当たりの貸出冊数（たちばな号含む）	選書、PRの工夫	6.00	5.12	
イ：予約数	PRの工夫	41,000	41,000	
ウ：大活字本、点字資料等の受入冊数	積極的な選書	40	40	
エ：外国語書籍の受入冊数	積極的な選書	20	16	
オ：実利用者数	選書の工夫	17,000	15,000	
カ：新規利用登録者数	選書、PRの工夫	2,300	2,000	
キ：利用者アンケート 9-②（読みたい本があったか）の平均	選書の工夫	4	3.5	
ク：資料受入冊数	予算の確保、適切な選書	14,000	13,000	
ケ：たちばな号の利用者数	ステーションの位置検討	5,400	4,000	
コ：たちばな号の貸出冊数	選書の工夫	35,000	26,000	

## • 取組予定

種々の指標を向上させるため、実利用者数の向上に取り組む。そのため、広報や主催事業を積極的に実施し、来館者の増だけでなく、利用者（本を借りた人）の増を図る。

## • 取組結果

平成30年度 1-①

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 1-②

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能

○評価項目 ② レファレンスサービスの充実

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：レファレンスサービスの件数	PR の工夫	450	410	
イ：職員研修の実施回数	職員研修の充実	6	4	
ウ：外部研修（県立図書館等主催を含む）の参加者数	各種研修への積極的な参加	15	15	

- 取組予定

まずは、来館者にレファレンスを依頼してもよいということを周知したい。

また、休館日を利用した職員研修を 4 回実施する。

外部研修への参加者数は予算と時間の制約もあり、人数を増やすことは難しいため、参加者数を維持し、確実に伝達研修を行えるように取り組む。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 29 年度 1-③

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能

○評価項目 ③ 暮らしに役立つ情報の提供

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：テーマ展示の実施回数	PRの工夫・YA コーナーの充実	20	17	
イ：中高生の利用者数	魅力的なテーマ 展示の実施	1,000	900	

- 取組予定

テーマ展示実施回数は、前年度を維持する。

中高生に図書館の利用を直接訴える方法を検討する。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 1-④

基本方針 1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 ー資料・情報提供機能

○評価項目 ④ ホームページ等による情報の発信

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：お知らせ、行事案内等のホームページ掲載回数	積極的な情報発信	60	50	
イ：広報紙の掲載回数	積極的な情報発信	70	70	
ウ：報道機関情報提供の回数	積極的な情報発信	12	10	

- 取組予定

ホームページについては、きめ細かく、タイムリーな情報を提供できるようにする。

広報紙へは、行事の案内だけでなく、図書館の利用についても掲載できるように調整をする。

報道機関へは、情報提供の回数を維持するとともに、記事掲載をしてもらえるような情報提供を心掛ける。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 2-①

基本方針 2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 ー資料収集・保存・支援機能

○評価項目 ① 資料の収集と受入

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：郷土資料の受入冊数	適切な選書、寄贈の呼びかけ	700	600	

- 取組予定

まずは市庁舎内の出版物について、確実に図書館へ提出されるように呼びかける。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成30年度2-②

基本方針 2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 ー資料収集・保存・支援機能

○評価項目 ② 資料の保存・活用

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：資料の展示・公開回数	資料の整理	1	0	
イ：古文書・貴重資料の調査・研究の対応回数	職員研修の充実	100	80	
ウ：舟橋聖一顕彰文学賞の応募数	PRの工夫	400	150	

- 取組予定

資料展示を行うために、所蔵資料の整理を進める。文化財部学芸員との連携を図る。

舟橋聖一顕彰文学賞の応募増を図るために、広報方法を見直す。特に高校については、学校を直接訪問するなどし、積極的に作品募集を行う。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 3-①

基本方針 3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 ー学びの場の提供

○評価項目 ① 子どもの読書活動の推進

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：学校への団体貸し出し数	学校へのPR、 貸し出しリスト の作成	2,500	1,700	
イ：読み聞かせ、ブックトークの参加者数	実施の検討・準備	100	90	
ウ：未就学児の登録者数	ブックスタート でのPR	1,000	850	

- 取組予定

学校へ、図書館の本を利用できることをPRする。

おはなし会の実施とともに、小学生高学年以上へのアプローチについて検討を行う。

ブックスタートでの図書館利用PRに努める。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 3-②

基本方針 3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 ー学びの場の提供

○評価項目 ② 子育て関係機関・団体との連携

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：読み聞かせボランティア数	ボランティアの育成	30	21	
イ：ブックスタート事業の推進	ブックスタートでのPR・利用者の開拓	—	—	—

- 取組予定

読み聞かせボランティアに対する研修を実施するとともに、今後のあり方について検討を行う。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 4-①

基本方針 4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 ー滞在型図書館の機能

○評価項目 ① やすらぎのある図書館づくり

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：利用者アンケート 9-③（居心地）の平均点	居心地の良い空間づくり	4.0	3.5	
イ：利用者アンケート 9-④（職員の態度）の平均点	接遇の向上	4.5	4.0	

- 取組予定

まずはアンケートを実施し、現状を把握する。

接遇の研修を行い、利用者満足度の高い対応ができるようにする。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成 30 年度 4-②

基本方針 4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 ー滞在型図書館の機能

○評価項目 ② 居場所としての図書館づくり

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：利用者アンケート 7（滞在時間） の平均	滞在時間が延 びる工夫	0.5	0.5	
イ：来館者数	魅力ある図書 館づくり・利 用者の開拓	240,000	190,000	

- ・取組予定

まずは、アンケートを実施し、利用者滞在時間の実態を把握する。

来館者数は、減少傾向に歯止めをかけるため、主催事業の PR に努めるほか、図書館利用について、広報紙への記事掲載を検討する。

- ・取組結果

- ・成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成30年度5-①

基本方針 5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 ー活動支援機能

○評価項目 ① 多目的な活動を支える場所の提供

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：集会室の利用回数	利用条件の整理	180	180	
イ：図書館主催行事の開催数	イベント内容・ 対象の研究	11	11	
ウ：学校と連携した学習と研究発表場所の提供 回数	学校との連携を 検討	3	1	

- 取組予定

集会室の利用、図書館主催行事には、昨年通り取り組む。今年度は、主催行事実施に合わせて、図書館を利用してもらえるような仕掛けづくりに取り組む。

学校にはまず、研究発表場所として図書館を利用してもらえるようPRを行いたい。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見

平成30年度5-②

基本方針 5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 ー活動支援機能

○評価項目 ② 図書館に関わる各ボランティア団体との連携と協力

自己評価	
------	--

外部評価	
------	--

評価指標	取組の方向	H32 年度 目標	H30 年度 目標	H30 年度 実績
ア：ボランティア団体との連携回数	各団体との意見 交換の実施	5	4	
イ：図書館ボランティア数	各団体の活動紹 介に協力	40	21	
ウ：地域文庫数	新規立ち上げ、 継続活動への支 援	15	13	

- 取組予定

各団体の紹介をボランティア希望者に行うとともに、図書館でのボランティア受け入れについて検討を行う。

地域文庫については、新規立ち上げ文庫のサポートを行う。

- 取組結果

- 成果と課題

□図書館協議会からの意見